

12月12日(土) 本年度第23回(通算2662回) 12時30分～ 釧路プリンスホテル

『経済問題』

担当/社会奉仕委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

- | |
|-------------------------|
| ・財務省 釧路財務事務所所長 富山 正博様 |
| ・日本ロータリーEクラブ2650 花田 善廣様 |

☆メーカーアップ

12月8日	高橋 貢君、萩原 昭博君、小林 裕幸君、北山 幸徳君 泰地 浩幸君、東海林 均君	(釧路RAC)
-------	---	---------

☆出席報告【会員総数64名 免除7名 出席計算に用いた会員数64名】

本日の出席者 35名 54%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 富山様、本日の例会よろしくおねがいます。
- ・小林 裕幸君 ～ 富山様お忙しい中、例会講師お引き受けありがとうございます。
- ・中嶋 嘉昭君 ～ 多田さんの入会を歓迎して
- ・小野寺 英夫君～ 多田さん入会おめでとうございます。
- ・田野 竜之介君～ 2012年12月12日12時12分入籍しました。
- ・坂入 信行君 ～ 富山様、本日はよろしくおねがいたします。そして多田君入会おめでとう！
- ・平澤 利秀君 ～ 多田さんようこそ！
- ・中村 祐昭君 ～ 多田さん入会おめでとうございます！

☆会長挨拶☆
《高橋会長》



皆さんこんにちは！釧路もすっかり雪化粧になりました。

選挙も終盤になりTV、新聞を賑しておりますが、師走の活気が損なわれている今回の選挙であります。どの政党が取るのもいいですがマニフェストをきちんと守る政党であって欲しいものであります。

本日は社会奉仕プログラムであります。手続き要覧抜粋ではありますが、社会奉仕とは、ロータリアン1人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務である。12月は家族月間であることは皆様も理解しているところでありますが、社会奉仕を通じて世界中のロータリアン、クラブ、地区が祝いプロジェクト、活動、行事の実施を通じて家族と地域社会への献身を示すよう奨励されているのです。ロータリー歴の浅い会員は12月に家族と地域社会への献身を示すような行事が多いことを理解してください。

本日は釧路財務事務所 富山 正博(とみやま まさひろ)様による「道東釧路の経済状態」を聴けるのを楽しみにしておりました。

本日はよろしくお願いたします。

☆幹事報告☆
《小林幹事》



- ①本日の回覧についてですが、12月例会プログラムが白糠・中標津・弟子屈の各RCより来ております。the rotarian12月号こちらも回覧しております。
- ②12月8日釧路北RACのクリスマス例会に6名で参加してまいりました。
- ③IDスポーツ大会参加者から感謝の色紙、お手紙をいただいております。

☆新入会員紹介☆



ただ ようへい
多田 洋平 君

ライブスデザイン ワイズ 代表



経済問題



財務省 釧路財務事務所所長

富山 正博 様

本日は、「釧路北ロータリークラブ」本年度第23回例会にお招きいただき感謝申し上げます。

まず、我が国経済情勢、北海道の経済情勢に簡単に触れた後、「釧路・根室管内の経済情勢」についてご説明申し上げます。

【我が国経済情勢について】

平成24年11月16日に内閣府が公表した「月例経済報告(平成24年11月)」によりまず「景気は、世界景気の減速等を背景として、このところ弱い動きとなっている」と報告されています。さらに、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性は高く、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動等が、我が国の景気を下押しするリスクとなっているとしておりまして、近々公表される12月の月例経済報告の内容に注目したいと思います。

【北海道の経済情勢について】

平成24年11月28日には、同じ内閣府が「地域経済動向(24年11月)」を公表しており、それによりまず、「北海道地域では、景気は弱含んでいる。」とされており、景気判断は下方に修正されております。

主要なものでは、「鉱工業生産が緩やかに減少している」ほか、「個人消費も弱い動きとなっている」など、それぞれ判断が下方修正されています。一方で、「雇用情勢は厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している」とされているほか、観光は、道外客が回復してきたことや東南アジアからの客が増えていること等から「持ち直している」とされているなど、明るい状況も出てきております。

【釧路・根室管内の経済情勢について】

こうした我が国経済情勢、北海道経済情勢を踏まえて、管内の経済情勢について見てみます。基本的には平成24年7-9月期のデータと判断をベースに、直近10月のデータを踏まえ、主要項目である「個人消費」、「生産」、「漁業」、「観光」、「雇用」、「企業倒産」の順で説明いたします。

「個人消費」については、主要小売店売上高は、家電・家庭用品は低調であるものの、衣料品を中心に持ち直しの動きとしていますが、10月は9月に比べて対前年比の伸び率が鈍化しているほか、食料品が対前年比減少しております。また、新車の登録等台数は、エコカー補助金の効果もあって、小型乗用車(HV人気)や軽自動車を軸に、対前年比を上回っておりますが、10月に入ってその効果の反動もあり、伸び率は大幅に縮小しているなど、足元では「持ち直しの動きは弱まっている」と見ております。

「生産」については、製紙生産量が、一部工場において新聞用紙の生産を中止しているほか、ペーパーレスの流れの中で印刷用紙が減少していることもあつ

て、前年を下回っております。10月だけで見ても、1割程度の減産となっております。すり身生産量については、原料であるすけとうだらの漁獲量に左右されるものの、需要は旺盛で原料を管外から調達するなどして対応しておりますが、10月の生産は前年を下回っております。生乳生産量は、昨年が一昨年の猛暑の影響があつて生産が落ち込んでいる反動があるほか、本年は7月から8月中旬頃まで比較的涼しかったこともあつて生産は順調であります。足元では、「生乳生産を除き弱い動き」と見ています。

「漁業」については、主力であるサンマの影響が大きいのですが、水揚量はほぼ前年並みであったものの、水揚金額は前年を大幅に下回っており、10月は水揚量、水揚金額とも前年を下回るなど、足元では「引き続き低調な動きと見ています。なお、サンマについては、例年漁獲量の6割程度を占める生鮮用が、今年は3割程度に留まり、水揚金額が前年を大きくした回る要因の一つとなっております。

また、今年は「サバ」の水揚げが好調であったものの、加工施設や貯蔵施設が主力のサンマで手一杯といった事情もあり、釧路沖で獲れたサバの7割は、加工施設が充実している東北の八戸港に水揚げされていると聞いています。

「観光」については、東日本大震災の影響を受けた昨年の反動増もありますが、機材の大型化、道外客、台湾を中心とする海外客の来訪が好調で、空港乗降客数は前年を上回っている。10月もその傾向に変化はありません。

宿泊客数は、データは公表していませんが、温泉宿泊者、釧路のホテル宿泊者とも、道外個人客を中心に好調であると聞いています。足元では、「空港乗降客は道外便中心に引き続き持ち直し」と見ています。

「雇用」については、有効求人倍率が7-9期で0.66、9月、10月単月でそれぞれ0.69と、前年を上回る高い率となっております。有効求人倍率が0.60を上回るのは、釧路財務事務所が統計を把握しはじめた17年4月以降では初めてのことであります。足元では、「引き続き堅調な動き」と見ています。

但し、雇用の現場では、「医療・福祉」、「宿泊業・飲食店」などでは、3ヶ月以内に採用できず再度求人を出す「更新求人」が多いことや、「事務系」を希望する求職者が多い反面、「宿泊業」、「水産加工業」、「医療・福祉」での求人数が多いといった、職種の不マッチが見られることにも留意する必要があります。なお、求職者数が減少傾向にあるものの、若い人を中心にハローワーク以外に、インターネットを利用して職を探す人が増えてきていることもその要因であるとの声も聞かれます。

「企業倒産」については、10月までの足元でも「落ち着いている」と見ていますが、11月には小口ながらも倒産件数が対前年を上回っているとのことで、今後の動向は注視していきたいと思えます。

以上、管内の経済情勢についての説明を終わります。

なお、「公共事業」、「住宅建設」、「金融」については、資料をお付けしておりますが、解説は割愛させていただきます。